

令和2年度事業報告

本会は、公益財団法人として適正な運営に努めるとともに、県民の健康増進と体力向上による、豊かな活力に満ちた地域社会づくりに寄与するため、「競技力の向上」と「生涯スポーツの振興」を目指して次の事業を実施した。

競技力向上対策事業

1 競技スポーツ推進事業

中・長期的に競技水準を維持・向上させ、全国や世界で活躍する選手の継続的な育成を図るため、競技力の基盤を支える少年の強化と地域の特色を生かした競技スポーツの充実を予定していたが、年度当初からの新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、日常生活における活動自粛等により、強化活動はもとより、スポーツ活動に大きな制限がかかることとなった。

また、山口県競技力向上対策委員会において、鹿児島国体の目標を総合成績20位台中盤としたが、鹿児島国体延期が決定し、冬季大会においては県選手団の大会参加を辞退する結果となった。

(1) 山口県競技力向上対策委員会

中・長期的に競技水準の維持・向上を図るため、競技力向上対策委員会を開催し、選手の育成・強化や指導者の養成、スポーツ医・科学の活用等を総合的・計画的に推進した。

◆年1回開催（11月は国体延期を受け中止、3月12日実施）

(2) ジュニア世代の発掘・育成

国体や世界大会等で活躍する選手の継続的な輩出に向けて、各競技団体と構築した発掘・育成システムを通じ、山口県の未来アスリートの発掘・育成に取り組んだ。

① やまぐち未来アスリート発掘事業

成長期にある小学校高学年や即戦力となる中学生を対象に「複数の競技を体験する機会」を提供するとともに競技団体が実施するジュニア選手の育成・強化の取組を支援することにより、多くの未来アスリートを発掘・育成に取り組んだ。

◆体験会：6月28日（日）・1月31日（日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止

◆能力開発プログラム：3回 延べ23名

② やまぐち未来アスリート育成・強化拠点支援事業

競技団体が所管するジュニアクラブの設立や活動、拠点化事業等を支援することによりジュニア層の受け皿づくりを推進し、ジュニア選手の発掘・育成、強化や中・長期的な競技力の向上、競技人口の維持・拡大に取り組んだが、コロナ禍で変更を余儀なくされた。

◆14競技（感染防止対策を取り、可能な範囲で実施）

③ 次世代チーム強化支援事業

国体の少年種別につながる中学生年代の団体競技の強化を支援することで、ジュニア世代（小・中学生）からの継続的な強化に取り組んだ。

◆17競技（競技団体提案型）（感染防止対策を取り、可能な範囲で実施）

④ YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー

山口県から世界へ羽ばたくアスリートを育成するため、スポーツ能力に優れた児童を早期に発掘し、小学4年生から中学3年生を対象に、「レスリング」、「セーリング」及び「フェンシング」の3競技に特化した育成プログラムを展開した。

◆小学生27名、中学生35名、計62名

(3) チームやまぐちの強化に関する取り組み

国体総合成績10位台の回復・定着に向け、チームやまぐち少年種別、成年種別に対し、競技団体や強化拠点校の選手育成・強化活動を総合的・戦略的に支援することにより、本県競技水準の維持・向上、ひいては国際大会等で活躍できるトップアスリートの継続的な育成を図った。

① チームやまぐちパワーアップ事業

国体総合成績10位台の達成に向けて、有望競技種別を重点強化し、コロナ禍ではあるが長期的な視点に立ち、感染防止対策を取りながら、各競技団体が行うジュニアの育成から有望な選手の強化活動(中高成連携合同強化練習・強豪チームを招へいた強化試合等)まで、実施可能な事業に対して支援を行った。

◆37競技団体

② 強化拠点校活動支援

全国大会・国体等での活躍が期待される県内の強化拠点校に対し、部活動の日常的な練習や外部指導者の招へいなどに対し重点的な支援を行うとともに、中学校・高等学校の一貫した強化体制に努め、少年競技における競技力の向上に取り組んだ。

◆27競技37校65部

③ 国体選手(トップ指導者)の活用

競技水準の維持・向上及び指導者等の資質向上を目的として、全国から招へいたトップレベルの競技者・指導者を引き続き確保するとともに、こうした人材を活用して競技スポーツ及び地域スポーツの普及促進に取り組んだ。

◆1名(9月30日まで:カヌー競技 足立和也10月1日付ヤマネ鉄工建設(株)所属)

④ やまぐちアスリートキャリア支援

即戦力となる人材や将来指導者となる人材を継続的に確保し競技力向上を図るため、県内外で活躍する山口県ゆかりの優秀なアスリート等の県内就職を支援した。

◆参加企業 11企業 参加者3競技4名 就職内定者3名

(4) 特殊用具等整備事業

練習競技用具、特殊用具・備品等の整備を支援した。

◆7競技団体

(5) 優秀選手・トップスポーツクラブ指定制度

国体等で活躍が期待される選手や企業・大学・クラブチームを指定し、山口県代表、チームやまぐちの一員としての誇りと使命の自覚など選手の意識改革を図り、当該選手の強化を目的とした競技団体の取組や当該クラブの活動として行う日常的な練習等に対して支援を行った。

◆優秀選手指定 国体延期により指定なし

◆トップスポーツクラブ 11競技13チーム

(6) 山口次世代コーチーズ育成事業

中央競技団体や全国トップレベルの指導者と密接に連携し指導者の更なる指導力の向上と、次代を担う指導者の育成に取り組む予定だったが、コロナ禍で変更を余儀なくされた。

① チームやまぐち優秀指導者研修支援

若手指導者の資質向上を図り、次世代を担うトップレベル指導者を養成するため、県外優秀指導者等の指導方法や指導環境の整備等を直接教授する取組と支援する予定だったが、コロナ禍で変更を余儀なくされた。

◆2競技団体 2名

② トップコーチ育成支援

県内指導者等が、中央競技団体や公益財団法人日本スポーツ協会等の指導者養成講習会に参加し、国体監督の資格等を取得するとともに、県内指導者への伝達講習会を実施する等により、県内指導者の資質向上を図ったが、コロナ禍で変更を余儀なくされた。

◆ 4 競技団体

③ コーチングセミナー支援

全国トップレベルの指導者を招へいし、県内強化練習会等で選手への直接指導と同時に、県内指導者の研修会等を行うことにより、県内指導者の資質向上を図った。また、全国トップレベルの指導者をスーパーアドバイザーとして、年間定期的に県内強化練習会等に招へいし、強化拠点における県内指導者の資質向上を図った。

◆ 1 2 競技団体

(7) スポーツ医・科学サポート事業

スポーツ医・科学を活用した科学的データに基づき、競技特性や選手個々の技能・身体の発達段階を踏まえたサポート体制の充実に取り組むとともに、日本スポーツ振興センター等との連携により、将来の有望選手を育成する「YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー」、「やまぐち未来アスリートチャレンジ」を実施した。また、アンチ・ドーピング教育等を実施し、健全なスポーツ活動の推進に努めた。

◆ジュニアアスリートサポート

- ・ 1 4 競技 1 6 団体 2 8 回 9 2 4 名

◆サポートスタッフ派遣

- ・ スポーツドクター、スポーツトレーナーの派遣 1 名
- ・ スポーツトレーナー研修会 3 回/年 参加者：7 0 名

◆巡回サポート

【スポーツ栄養サポート】	5 競技 5 団体	2, 0 0 1 名
【メンタルトレーニングサポート】	7 競技 1 1 団体	6, 0 0 9 名
【フィジカルトレーニングサポート】	4 競技 5 団体	2, 5 1 0 名

◆アスリートサポート講習会（年 2 回）

- ・ 女性アスリート支援のための講習会 参加者：5 8 名
- ・ フィジカルトレーニング講習会 参加者：3 4 名

◆アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ・ アンチ・ドーピングに関する情報発信及び窓口の設置

◆情報配信サービス

- ・ YMS Network (1 1 回)

2 国民体育大会派遣事業

(1) 第 75 回国民体育大会(第 76 回冬季大会)中国ブロック大会の開催・選手団派遣

競 技	期 日	場 所	派遣人数
本大会 水泳他 31 競技	令和 2 年 5 月 23 日(土)~8 月 30 日(日) ※第 75 回国民体育大会の延期に伴い中止	鳥取県	中止
冬季大会 アイスホッケー	令和 2 年 12 月 12 日(土)~13 日(日) 令和 2 年 12 月 19 日(土)	出雲市 倉敷市	2 2 名

(2) 第 75 回国民体育大会への選手団派遣 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和 5 年に延期

競 技	期 日	場 所	派遣人数
本大会 陸上他 35 競技	令和 2 年 10 月 3 日(土)~10 月 13 日(火)	鹿児島県	延期
会期前開催 水泳他 4 競技	令和 2 年 9 月 12 日(土)~9 月 20 日(日)		

(3) 第76回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

競技	期 日	場 所	派遣人数
スキー	令和2年2月18日(木)～2月21日(日)	秋田県 鹿角市	中止
スケート アイスホッケー	令和2年1月27日(水)～1月31日(日)	愛知県 他3市	辞退

3 高校スポーツ奨励金制度の実施

県内外優秀選手の県内高校への進学支援を目的に奨励金制度を実施し、競技スポーツ活動の向上を図った。

◆4競技14名

総合的スポーツ振興事業

1 山口県体育大会開催事業

山口県体育大会を開催し、広く県民スポーツの普及振興を図った。

※中止 (一般の部)12競技、(スポーツ少年団)5競技

部 別	中心開催日	会場地	参加者数
スポーツ少年団	令和2年 9月 22日(火・祝)	7市	2, 227名
中学校	令和2年 10月 3日(土)・4日(日)	7市	6, 221名
高等学校	令和2年 11月 8日(日)	10市2町	9, 356名
一 般	令和2年 11月 1日(日)	11市	2, 861名
スキー	令和3年 1月 11日(日)・12日(月・祝)	広島県	中止
合 計			20, 665名

2 地域スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ振興の一環として、本県で開催される伝統的な競技会や全国・中国大会レベルの競技会に対して助成を行った。

- ・伝統的競技会：防府読売マラソン大会等5競技
- ・全国的競技会：全国大会1競技、中国大会3競技

(2) 地域スポーツの普及、振興を図ることを目的に、郡市体育協会・国体正式競技以外の加盟競技団体等が主催する各種スポーツ事業に助成を行った。

- ・郡市体協主催：11事業
- ・国体正式競技以外主催：3事業

(3) 地域住民にスポーツ活動実践の場を提供しスポーツ活動の定着を目指すとともに、公認スポーツ指導者の地域における積極的な活用を図るため、各市町体育協会が実施するスポーツ教室に対して助成を行った。

- ・実施数：8教室(3市体協)

(4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、スポーツイベントの中止など、県民のスポーツ活動自粛が要請される中、活動環境整備を支援した。

- ・アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用した運動遊び促進事業 7事業 712人
- ・総合型地域スポーツクラブ活動再開支援事業 51クラブ
- ・スポーツ施設感染症予防対策事業 21施設

3 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

(1) 巡回支援・実技指導(クラブ、市町等)

生涯スポーツの支援体制の整備を図るため、県内3か所に、「生涯スポーツ推進センター」を設置し、スポーツコンシェルジュを2名配置し、市町主管課、創設支援クラブ、設立済

総合型クラブへの巡回調査、育成支援、実技指導を実施した。

◆実施回数

コンシェルジュA	コンシェルジュB	合計
103	70	173

(2) 研修会等・スポーツ指導者等派遣

◆会議・研修会開催

- ・第1回創設・育成研修会（兼：市町担当者会議）中止
- ・第2回創設・育成研修会（講演会・認定システム説明会）32名
- ・クラブマネジメント講習会（兼：アシスタントマネジャー養成講習会）
2日間 10名
- ・スポーツリーダー養成講習会 2日間 15名

◆スポーツ指導者等派遣

- ・派遣団体 22団体（派遣延べ回数：計224回 参加人数：計4,160人）

(3) 地域スポーツフェスタ

総合型クラブやスポーツ少年団等に対する理解を深め、各クラブの活動の充実及び会員数の増加を図るため、県内を7地域に分けてそれぞれに連絡協議会を組織し、クラブ間の情報交換や共同して行うイベントを開催した。

地域	市 町 名	開催日	内 容
岩国	岩国市・和木町	中止	ボッチャによるクラブ交流会
柳井	柳井市・田布施町・平生町 上関町・周防大島町	中止	リズムジャンプ
周南	周南市・光市・下松市	中止	コンディショニング
県央	山口市・防府市	中止	サッカー教室
厚狭	宇部市・美祢市 山陽小野田市	11/7	切り絵作家講演会 秋吉ジオツアー
長門	長門市	9/12	バレーボール教室 卓球大会
下関	下関市	9/27	健康教室 フォークダンスレク式健康チェック

4 青少年スポーツ育成事業

「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを!」「スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に!」の理念の下に、本県スポーツ少年団組織の充実強化を図った。

(1) 登録促進事業

- ・団 数 774団
- ・指導者数 2,689名
- ・役員・スタッフ数 1,371名
- ・団員数 14,211名(加入率 小学生20.38%)

(2) 指導者・リーダー養成及び研修事業

- ・スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会 中止
- ・各種研修会への派遣 中止
- ・ジュニア・リーダースクール 中止

(3) 団活動の充実強化事業

- ・山口県体育大会スポーツ少年団の部の開催 15競技中10競技実施
- ・全国・中国ブロック交流大会への派遣 中止

(4) 国際交流事業

- ・日独同時交流事業の派遣 中止
- ・日独スポーツ少年団ユースキャンプ派遣 中止

(5) 顕彰事業

- ・山口県スポーツ少年団表彰 団体 9・指導者 10名
- ・日本スポーツ少年団表彰 団体 1・指導者 4名

(6) スポーツ少年団育成のための普及啓発事業

- ・「子ども遊び・スポーツ」推進事業 2市実施
- ・「アクティブ・チャイルド・プログラム」普及啓発事業 実施なし

(7) 地域スポーツ拠点育成支援事業

- ①地域スポーツ指導者研修会（運動適性テストⅡの行い方及びACP普及講習会）
参加者 25名
地域スポーツ指導者養成研修会（ACPブラッシュアップ研修会） 中止
- ②地域スポーツ指導者養成事業（地域指定）
下関市（8回）参加者 440名 / 周南市（9回）参加者 350名
- ③女性とスポーツの会研修会「スポーツの絆 WOMAN 和ークル」
山口市他参加者 46名

5 国際スポーツ交流事業

スポーツを通じた国際交流の促進を図るため、市町体育協会が実施する事業に対し助成を行う予定だったが新型コロナウイルス感染症対策により実施がなかった。

6 スポーツ指導者養成・研修事業

(1) スポーツ指導者養成講習会の開催

地域においてスポーツ活動の技術指導と中心的な役割を担う日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を養成するための講習会

- ◆競技別指導者「指導員」養成講習会 実施なし

(2) スポーツ指導者研修会の開催

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上を図るため、県スポーツ指導者協議会との共催で研修会を開催した。

- ◆東部・西部地域合同研修会
 - ・期 日 令和2年1月30日（土）
 - ・場 所 周南市「周南地域地場産業振興センター」
 - ・参加者 138名

7 顕彰・広報事業

(1) 顕彰事業

永年にわたり本県スポーツの普及・振興に尽力された功労者の方々へ授与された。

- ・表彰式 新型コロナウイルス感染症対策により中止
- ・受賞者 26名 ※ 受賞者名は別途記載

(2) 広報事業

ホームページや広報誌により、本県スポーツの普及啓発を図った。

- ◆広報誌発行（8月・2月）

山口きらら博記念公園管理運営事業

県民の多様なスポーツ活動を総合的に支援するスポーツ交流拠点として整備された「山口きらら

ら博記念公園」において、指定管理者として協働企業体「きらら未来創発パートナーズ」に参画し、施設利用等(水泳プールを含む)の管理運営業務を行った。

また、スポーツイベントやスポーツ教室等の自主企画事業を実施した。

財政基盤の確立

本協会の目的に沿った各種事業の推進に向けて、公益財団法人としてのメリットも活かしながら、企業協賛や寄附金、賛助会員、応援募金などの「チームやまぐち応援プロジェクト」及びその他の財政基盤の確立に努めた。

◆特別寄附

株式会社山口銀行 / 山口県ゴルフ協会

◆チームやまぐち応援募金(寄付)

株式会社丸久 / ベル商事株式会社

◆賛助会員

企業・その他団体 73団体

団体個人会員 503名

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人山口県体育協会